

# 学童保育に入所を考えている方へ

— 特にしょうがいのある子 および

特別な配慮の必要な子 の保護者の方へ —



このリーフレットをご覧になる保護者の皆様

お子様の小学校入学おめでとうございます。

新しい生活は、保護者も本人もいろいろ不安もあるかと思えます。

いろいろな配慮を学童保育に要望しようとお考えの保護者の方に、安心して新生活を迎えるお役にたてばと思って、この冊子を作りました。



## 保護者が準備すること

まず、なるべく早い時期に必ず本人を連れて、学童保育見学を希望し、日時を予約しましょう。



次の5つのことをお願いするとスムーズです。

### ① 本人が使う予定の靴箱やロッカーの位置を見たい

- 体が小さな子の場合、よくある靴箱やロッカーの「1年生が一番下」の位置が、目線の下になりすぎて、かえって使いにくいことがあります。ランドセルはかなり重いです。
- 在所児のランドセルを借りて、入れやすい位置を試してもよいかもしれません。



### ② トイレを使わせてほしい

→排泄は生活上、とても大切です。

- ・体の小さな子の場合、洋式便座に自力で座れるか(両足つくのが理想ですが、台が置けない場合もあります)、ペーパーが取れるかを確認しましょう。
- ・音やにおいに慣れるためにも、一度使わせてもらって様子を見ましょう。
- ・トイレの自立にまだ不安がある場合、万一の場合どこで着替えるのかを確認しましょう。着替えをトイレ近くにおけないかも確認しましょう(他の子にわかりにくいように)。
- ・本人に使ってもらい、「初めて」の怖さを和らげましょう。

☀ 『入所すると迷惑をかけて申し訳ない』と**思っている**も、

しょうがいのある子が入所し、障害のある子ども対応の指導員を配置すると、学童保育には補助金が増額されます。

2020年度の「障害児受入れ推進助成」は、年額1,900,000円です。

(名古屋市では158,330円が毎月支給されます。)

3人以上受け入れ、指導員をもう一人配置した場合は「障害児受入れ強化推進助成」が「障害児受入れ推進助成」に加えて、年額190万円予算化されています。

③ おやつを一緒に食べさせてほしい

→学童保育では基本的に、毎日おやつを皆で一緒に食べます。

- ・1年生は学校給食が始まるまでの約2週間、昼食も取ります。
- ・アレルギーの内容や偏食、小食が心配な場合は、紙に書いて持参すると話し合いがスムーズです（本人の前で偏食や小食の話は短くし、機嫌が悪くなることを抑えます）。
- ・食器（はし）の扱いに課題があるようなら、伝えます。
- ・おやつを学童保育で在所の子どもといっしょに食べておくと、場になれるのが早くなります。
- ・落ち着きがなく立ち歩く場合は、空間の中央に席が来ないように、配席を考慮してもらおうよう伝えることが、子どもがスムーズに生活できることにつながります。

④ 他の子どもが遊ぶ場面を見たい

→子ども達の元気のよさ（騒がしさ）にも慣れる必要があります。

- ・どんなおもちゃがあるかを見せてもらうと、本人も自分が生活するイメージをつくりやすくなります。
- ・外遊びの機会があれば、公園などにも同行しましょう。一緒に遊べなくてもかまいません（無理して入れてもらうよう促さない方がよいです）。保護者が知っている近所の子や保育園の子がいれば、学童保育指導員にその旨を伝えて、保護者から声を掛けることも学童保育になれることにつながります。



⑤ 保育所（幼稚園・こども園）の見学に来てもらえるかを聞く

→「見に行ったら今の生活の様子を見たい」と即答して頂けるようなら、安心できます。

保育所には保護者の方から園長先生に申し出て、指導員見学の協力をお願いします。

園の担任の先生とお話しできるようお願いしておくことも忘れずに依頼しましょう（保育加配の先生がついているのであれば、その先生とも）。

この5つができると、保護者も本人も学童保育での生活のイメージができれば始めるでしょう。わからないことが一番不安なのですから、見学の機会に疑問をいろいろ聞いてみましょう。

\* 万一、受け入れに難色を示されたら、「どこが難しいと思うか」「1週間に何日までなら可能か」を聞きましょう。

(放課後等デイサービスとの併用なども考えられます。)

\* 診断がある子で、集団に適應するのがしばらく難しい様子(最後まで部屋に入れない、本人の強い緊張が解けない、拒否が強い、うるささに慣れないなど)がみられたら、放課後等デイサービスとの併用も考えた方がよいかもしれません。そちらも見学に行き、①～⑤の様子を見ながら相談しましょう。



\* 入学にあたっては、

- ・ 保育所から小学校に宛てた『リレーシート』や
  - ・ 小学校へ提出する『学校生活管理指導表』などもあります。
- これらの内容も学童保育指導員と共有できると学童保育での生活がスムーズになります。コピーして、学童保育へも提出しましょう。



\* 何かありましたら、しょうがい児部会(しょうがいのある子の学童保育生活を考える会)にご相談ください。(すぐの対応は難しい場合がありますが、なるべく早くご質問に回答できるようにいたします)。

名古屋市学童保育連絡協議会  
しょうがい児部会  
2020年10月1日発行  
名古屋市熱田区沢下町9-7-308  
(TEL) 052-872-1972  
(FAX) 052-308-3324  
Email: info@gakudou-nagoya.org

